



投資の学校

TOUSHI NO GAKKOU



小次郎講師マスタープログラム、21世紀タートルズプロジェクト 第2部「トレードルール作り基礎編」

小次郎講師投資塾 塾長
世紀の教え魔、小次郎講師

※著作権は小次郎講師にあります。無断でコピー、転載、外部の方へ見せることは禁止します。

トレーダーのバイブル「ギャン理論」

トレードルール作りの提唱者 W・Dギャンの「ギャン理論」徹底研究

私の尊敬する
ギャンさんの投資の極意です。



目次

ウィリアム・D・ギャン

- ギャンの人生
- 『ギャンの価値ある28のルール』(←タートルズルールの基本となる。)
- ギャンの人生のモットー
- ギャンがウォール街人生で学んだこと

(付録)ギャンの生み出したさまざまなチャート分析ツール

- パーセンテージ・リトレースメント
- タイムサイクルとアニバーサリー
- 価格と時間のスクウェアリング
- ギャンスクウェア・ギャンアングル・ギャンファン

ギャンの人生

ウィリアム・デルバート・ギャン

- 1878年米国テキサス州生まれのトレーダー。
- 農家を飛び出し、綿花相場で損し、証券会社に勤めるも会社が倒産。
- 大英博物館に通い何百年にも及ぶチャートを作る。
- 生涯儲けた金額は当時のお金で5000万ドル超。

ギャンの相場観

彼が最初に悟ったこと

- チャートを作成して聖書の一節から悟りを開く。
「かつてあったことはこれからもあり、かつて起ったことはこれからも起こる。太陽の下、新しいものは何ひとつない。見よ、これこそ新しいと言ってみても、それもまた永遠の昔からあり、この時代の前にもあった。」
- ここから数々のギャン理論が生まれる。
- 特に自然界の法則と幾何学を研究し、それを相場分析に取り込んだ。

世界恐慌を見抜く

- 1929年の世界恐慌を事前に見抜き、「投資家たちはその年から路頭に迷う」と予言。

ギャンの精神

相場にとって必要なもの

- 「忍耐(Patience)」
- 「勇気(Nerve)」
- 「知識(Knowledge)」
そして……、
- 「健康と休息(Health and Rest)」

ギャンの価値ある28のルール1

□ 第1条 資金管理と損失限度

- 資金管理を厳密に。
- ギャンの10分の1ルール。
- 投資用資金を10等分し、1回の売買における損失限度はその10分の1以下にすること。
 - **資金管理ルール**

□ 第2条 ストップロス

- ポジションを持つと同時にストップロスを必ず設定する。上記の損失限度内にストップを必ずおく。
 - **リスク管理ルール。ストップロスを設定するのはトレードの最重要原則！**

ここが
重要！



ギャンの価値ある28のルール2

□ 第3条 オーバーポジション

- 過剰な売買を決してしない。資金配分に従ったポジション量を厳守する。
 - 資金管理ルール。・・・過剰売買の禁止

□ 第4条 トレーリングストップ

- 利益を確保した後は損失とならないように、ストップロスを変更する。
 - リスク管理ルール・・・価格の上昇に応じてストップロスラインも切り上げる。

ここが
重要！



ギャンの価値ある28のルール 3

□ 第5条トレンドフォロー

- 逆張りは禁物。トレンドに逆らわない。
- トレンドに確信が持てないときは売買しない。
 - 一般トレーダーはトレンドフォローの方が圧倒的に取りやすい。

□ 第6条 迷いは禁物

- 迷った時はポジションを持たない、ポジションを持った後に迷ったら即手仕舞う。
 - 迷いを無くす唯一の方法がルールに則って売買をするという方法。

ギャンの価値ある28のルール4

□ 第7条 流動性とボラティリティ

- 流動性の低い市場ではトレードしない。
- ボラティリティの低い市場ではトレードしない。
 - 銘柄選択ルール、上記の「市場」を「銘柄」に置き換える。

ここが
重要！



□ 第8条 リスク分散

- リスクを分散し、資金の集中を避けること。
 - 銘柄選択ルール、ひとつの銘柄だけに絞って取引をするというのは実は難易度が高い。

ギャンの価値ある28のルール 5

□ 第9条 指値注文は使わない。

- 売買は成行注文で。
 - 指値注文とはある価格より高かったら買わない、ある価格より安かったら売らないというもの。
 - しかし、トレンドフォロー派は抵抗ラインを超えたからこそ買う。
 - ロスカットのときも同様、ある価格を下回ったら急いで損切りする。
 - (※スリップページが頻繁に起こる銘柄では、「成行注文」ばかりだと失敗することもあるので注意！)

□ 第10条 手仕舞い

- 確固たる理由なしに手仕舞いしないこと。
 - **トレード日記を付けよう！**

ギャンの価値ある28のルール 6

□ 第11条 余剰資金

- 利益を売買資金に注ぎ込んで取引を増やさない。
- 実現利益は別勘定として保有すること。
 - 「利乗せ」の禁止！（例外あり）

□ 第12条 小利益売買の禁止

- 小遣い稼ぎのような売買をしない。
- 損小利大に反する売買をしない。
 - 「損大利小」からいかに脱するかが一般トレーダーの最大のテーマ

ギャンの価値ある28のルール7

□ 第13条 難平禁止

- 難平(ナンピン)は決してしてはならない。
- これはトレーダーがするかも知れない最悪の失敗の1つである。
 - 「難平」の禁止！（例外あり）
 - 難平とは損失が出ているのにさらに追加で仕掛けていくこと。

□ 第14条 我慢の必要性

- 我慢できずに手仕舞いしたり、我慢出来ずに待ちきれずにポジションを持たないこと。
 - 売買は全てルールの元に。ポジポジ病が一般トレーダーの欠点。

ギャンの価値ある28のルール 8

□ 第15条 利小損大の禁止

- 利が乗った時は大きく伸ばし、損が出た時は小さいうちに切る。
- 小さな儲けと大きな損は避けること。
 - 「損大利小」からいかに脱するかが一般トレーダーの最大のテーマ。

ここが
重要！



□ 第16条 ストップロスを取り消さない。

- 取引した後に、ストップロスを取り消さない。
 - ルールは取引前に決める！取引中の変更は許されない。

ギャンの価値ある28のルール 9

□ 第17条 過剰売買の禁止

- 過剰なまでに頻繁な売買は避けること。

□ 第18条 ショート(売り)の活用

- ロング(買い)だけではなくショート(売り)も活用すること。
 - (上級編) 売りもできるのは信用取引、日経225先物、株365、FX、その他先物取引。

ギャンの価値ある28のルール10

□ 第19条 値頃感の禁止

- 安値覚え、高値覚えは禁物。
- 決して値頃(ねごろ)感で売買してはならない。
 - 値頃売買は中級者の落とし穴！

ここが
重要！



□ 第20条 ピラミッディング(追加玉)

- ピラミッディング(買い増し、売り増し)のタイミングに注意。レジスタンス・サポートをブレイクしてから買い増し、売り増しをすること。
 - ピラミッディングとは仕掛けた相場が当たったときに追加をしていくこと。難平と違ってこちらは禁止ではないが、それでも慎重に！

ギャンの価値ある28のルール11

□ 第21条 ピラミディングの選択

- 買い増しするときは強い上昇トレンドを示すもの、売り増しするときは強い下降トレンドを示す銘柄を選ぶこと。
 - 20条の補足。20条はタイミング、21条は銘柄選択。

□ 第22条 両建ての禁止

- 両建てはいかなるケースも禁物。
 - 「両建て」の禁止。売りと買いを同時に持つこと。
※サヤ取りはこの限りではない。

ギャンの価値ある28のルール12

□ 第23条 理由とルールに基づいた売買

- ルールに従うことが重要。
- 明確な理由なしにポジションを変えないこと。明確な理由のもと、明確なルールに従って売買を行うこと。
 - 売買は全てルールの元に。

□ 第24条 利益確定後の売買の禁止

- 利食いした後、また買い直すなど、意味なく売買を続けると損失につながる。
- 十分な利益を確保した後は、意味のない頻繁な売買を行わないこと。
 - 過剰売買の禁止。儲けた後はイケイケになりやすい。そして儲けた以上に損してしまう。

ギャンの価値ある28のルール13

□ 第25条 天底に関する憶測の禁止

- もうはまだなり、まだはもうなり。
- 相場の天底に関して勝手な憶測を行わないこと。
 - 「予想はよそう！」予想することにはメリットよりデメリットの方が多い。

ここが
重要！



□ 第26条 他人の助言での売買の禁止

- 自分より優れた人の場合を除き、他人の助言に基づいた売買は行わないこと。
 - アナリストの発言も信用しない。(参考にするのはいいが、絶対だと思っはいけない。)
 - 自己責任の確認！

ギャンの価値ある28のルール14

□ 第27条 損切り後の資金量縮小

- 負けたら、次は小さく勝負すること。大きく勝負して負け続けると、あっという間に全資金を使い切ってしまう。
- 損切りを行ったら、取引量を減らすこと。決して増やしてはならない。
 - 熱くならない。冷静に考えれば曲がっているときは慎重に行動するはず。

ここが重要！



□ 第28条 不適切なポジションメイクと手仕舞いの禁止

- ポジションを建てる時も手仕舞いする時も、ルールに従うこと。間違った取引はたとえ一時的に利益を上げられても間違っているのです、次に同じ事をすると、損をすることになる。
 - 売買は全てルールの元に。
 - ルールを破った売買がたまたま利益となったと言うケースが一番たちが悪く、その後、ますますルールが守れなくなり、結果として大損につながってしまう。

ギャンの人生のモットー

成功する投資家の姿勢①

- 1、何ごとにも乱されない強靱な心を持つ。
- 2、友人との付き合いでは自分にはない何かを発見するよう努力する。
- 3、物事は全て良い方に考える。良いイメージを持つことが成功の秘訣だ。
- 4、最善を考え、最善を尽くし、努力した後に最善を期待する。
- 5、他人の成功を心から喜ぶ。
- 6、過去の失敗にくよくよせず、輝かしい未来のことを考える。

ギャンの人生のモットー

成功する投資家の姿勢②

- 7、常に元気で笑顔を忘れない。
- 8、他人を非難する暇があったら自分の仕事に没頭する。
- 9、心配しすぎず、間違いも認め、怖いものは怖いと言う。そして過剰な幸福は求めない。
- 10、自分を信じ、信念を貫く。
- 11、そして自分が正しいと信じてやっている限り、必ず良い結果が生まれると信じる。

ギャンがウォール街人生で学んだこと

ウォール街での45年を振り返って

- 人生が与えてくれるものは、自分が人生に与えたものに他ならない。自分が種を蒔いたものだけが刈り取れるのだ。
- 知識を得るために時間と金を費やし、知るべき全てのことを知り尽くしたなどと驕らず、向学心を絶えず持つこと。そのような人こそが投機と投資で成功を手にするのだ。
- ウォール街で株や商品の取引をして過ごした45年間で知り得た真実を語ろう。自分の弱点を知ることが、破滅しないですむ秘訣だ。
- 投機を儲かる職業とすることは可能だ。ルールに従い、予期せぬことが起きることも考慮し、その準備さえ怠らなければウォール街に勝つことができる。

(付録) パーセンテージ・リトレースメント

パーセンテージ・リトレースメント

- 過去の高値安値に対する押し目・戻しの幅を次の2つのパーセントから計測した。

■ 8分の1刻み(大相場時)

- 1/8、2/8、3/8、4/8、5/8、6/8、7/8、8/8
- 12.5%、25%、**37.5%**、**50%**、**62.5%**、75%、87.5%、100%
- 50%を基本(上昇の基本形)、37.5%(安定した上昇力)、25%(非常に強い上昇力)、12.5%(押し目なし)

■ 3分の1刻み(通常時)

- 1/3、2/3、3/3
- **33%**、**67%**、100%
- 33%(強い上昇力)

真ん中の5つのパーセントが特に重要！

- 上の2つのパーセンテージ・リトレースメントの中で真ん中の5つが特に重要。
- 33%、37.5%、50%、62.5%、67%
※参考、フィボナッチ、38.2%、50%、61.8%、酒田五法、三分の一押し、半値押し、三分の二押し

(付録) タイムサイクルとアニバーサリー

サイクル理論(振動の法則)

- 相場にはサイクルがあり、そのサイクルは自然界のサイクルに基づく
- 例、季節周期

タイムサイクル

- 安値から安値までの期間、高値から高値までの期間には周期がある。
- 安値から高値、高値から安値までの期間にも(上ほどではないが)周期がある。
- それらも自然界のサイクルに影響されている。

円(360度)の法則

- 過去の重要な高値、重要な安値から30日、60日、90日、120日、360日先に重要な変化日あり。

アニバーサリー

- 過去に重要な高値・安値を付けた日から1年後、2年後、3年後のその日が重要な変化日になる可能性が高い。
- 7にも重要な意味を感じ、7日、7週、7ヶ月、7年も変化しやすい時期と考えた。

(付録) ギャンアングル・ギャンファン

価格と時間のスクウェアリング(均衡)

- ギャンは時間と価格には明確な関係があると考えた。
- その考え方からギャンアングル・ギャンファンなどが生まれる。

ギャンスクウェア(カーディナルマップ)

- 中央に1或はその銘柄の最安値価格を入れてらせん状に数字を並べていく。
- 中央のタテヨコに当たる数字が重要な支持ライン抵抗ラインとなる。続いて斜めの数字が重要。

31	32	33	34	35	36	37
30	13	14	15	16	17	38
29	12	3	4	5	18	39
28	11	2	1	6	19	40
27	10	9	8	7	20	41
26	25	24	23	22	21	42
49	48	47	46	45	44	43

(付録) ギャンアングル・ギャンファン

ギャンアングル

- ギャンが最も重要視したのは45度。
- 一定期間の安値、高値から時間と価格の1対1の関係を線で表す。

ギャンファン

- ギャンアングルを元に時間と価格が1×1、1×2、1×3、1×4、1×8、2×1、3×1、4×1、8×1の線を引く。それぞれの線が抵抗線・支持線となる。

